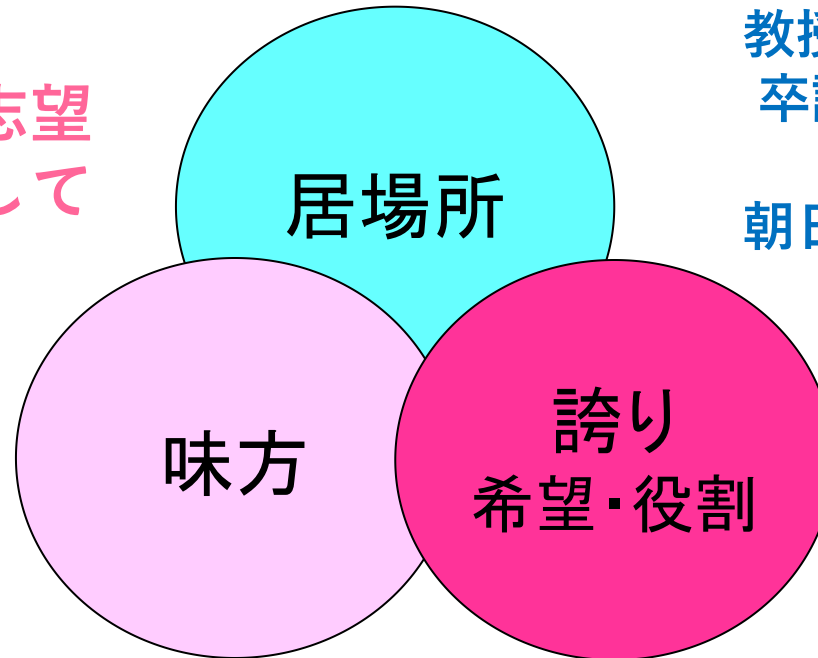


ジャーナリズム～ホンモノ・ニセモノ、 アカデミズム～ホンモノ・ニセモノ

もともとはアカデミズム志望
生命科学の研究者を目指して
生物系の学部へ



教授たちの会話に失望して科学哲学へ
卒論は「生命と熱力学第2法則」↓

↓
朝日新聞・社会部⇒科学部で医学記者⇒
論説委員室（福祉現場へ）

福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット
志の縁結び係&小間使い

朝日新聞医学記者⇒論説委員(厚生行政担当)⇒阪大大学院ボランティア人間科学講座
⇒国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野

ゆき さん(大熊由紀子)

仲が悪い2つの分野その1

文系と理系

「私は訊ねました。

『**熱力学の第二法則**についてご存じのことを1つ、2つ……』

気まずい沈黙が流れました。

『**シェイクスピア**のなにがお好きですか』

という程度の質問をしたにすぎないのに」

文系知識人と理系知識人の越えがたい溝に触れた

C. P. スノーの『二つの文化と科学革命』

仲が悪い2つの分野その2

ジャーナリズムとアカデミズム

- 「アカデミズムとジャーナリズムは、
近代が生み落とした**不仲の兄弟**のようなもの。
たがいの作法や思考の筋道を信用できないでいる」

ジャーナリストの世界では、

「まるで学者みてえな文章だな」というのは

最大のケナシ言葉

研究者の「これじゃ、ジャーナリストが書いたみたいだ」は

最大の軽蔑の言葉

医学ジャーナリズム・4つの原則

日本医学ジャーナリスト協会賞



ETV 特集「ルポ 死亡退院 精神医療・闇の実態」

NHK ディレクター 青山浩平さん・持丸彰子さん

准看護師A: すいませんじゃねえよ! 日本語わかんねえのか? オラ!
看護師B: また泣くのか? 泣いたらゲンコツで叩くぞ、お前! しきりに謝る患者と居丈高な職員。。。右のような映像と声が、日本の精神病院の現実を露わにし、視聴者に衝撃を与えました。取材班は、1498人10年分の患者リストを入手し、それをもとにした緻密な分析を展開しました。たとえば、1498人の78%にあたる1174人が死亡退院であること、カルテと診療内容を照合すると、不必要・不適切な診療が行われていたこと。身体拘束が日常的におこなわれているにもかかわらず、東京都の監査では「A」と評価されていること……。



1960年代、日本の厚生省は国際常識と真逆な政策を展開しました。精神病院建設奨励策です。精神病院はどこに建ててもよい、一般病院に比べて人手は少なくてもよい、低利で融資する、という政策です。その結果、日本の精神科ベッド数は世界の先進諸国の37%を占めることになりました。不必要で、長い入院期間や虐待などの人権侵害も起こり、国連から勧告を受け続けてきました。しかし、一般医療と異なる密接性に阻まれ、明るみにでない日々がつづいていました。1年以上の取り組みで、ここに風穴をあけた粘り強さに、ライバルのテレビ局のジャーナリストからも推薦書が寄せられ、選考委員一致で大賞と決まりました。

『ツベルクリン騒動 明治日本の医と情報』

月澤美代子さん

1ツホは、当時、もっとも注目されていた医学者でした。そのコッ世界各国から5000人以上が集まったベルリンでの国際医学会の物質で処置すると、モルモットは結核に感染しても治るようだ。こまりでした。いまでは結核感染の「判定薬」として知られるツ療薬」として過剰な期待を集め、人体に対する結果を含んだ論文の医療施設で入院患者に使われることになりました。しかし、コツカ果は追認できず、死者まで出て、急速に失望感が広がっていき「ツベルクリン騒動」を日本で煽ったのは、新聞や知識に乏しい開業、たが、月澤さんは、学術論文だけでなく、官報、商業誌、一般新聞、主からの私信にいたるまで、膨大な資料を読み解き「史実の修復」した。そして、当時内務省衛生局長だった長与専齋が導入し、時吉が広めたこともつきとめました。月澤さんは、特定の治療法に医師に対して同僚の医師たちが批判をためらう「日本の医療界の視点に、この「ツベルクリン騒動」があったとしています。また、行われた臨床実験に関する内部文書で「死亡」の数が抹消され、が公的記録として残されなかったことも指摘しています。500Fの厚さ、7000円ほどのこの本を協会賞の対象にすべきかどうか、

したが、「新型コロナウイルス感染症について、政治家が都合のよいように発信するなど問題は続の盲信、迎合、追従が、数多くの捏造や、隠蔽をうんできた過程を知るとは、医学ジャー



「ゆりかご 15年 いのちの場所」と一連の報道

熊本日日新聞社「ゆりかご 15年」取材班

予期せぬ妊娠に悩む少女、一人で出産せざるをえなかった困窮状態の女性。自身で育てられない子どもを、匿名でも預かる「このとりのゆりかご（赤ちゃんポスト）」が開設から15年を迎えました。「ゆりかご」は現代社会のさまざまな問題を映し出す鏡、という思いから、熊日の記者は、バトンタッチしながら、この問題を息長く追いかけてきました。連載は、「ゆりかご」開設の日に預けられ高校卒業と同時に自身の身の上を公表した青年の日々から始まっています。さらに「ゆりかご」に預けた母、「ゆりかご」の子を育てている養父母の声も記事にしています。記者たちが、丁寧に人間関係を築いてきたまものといえるでしょう。新しい取り組みも始まっています。病院のスタッフだけに身元を明かして出産する「内密出産」です。国もガイドラインを公表。他の医療機関にも広がる可能性がでてきました。匿名出産の歴史が長いフランスや、「ゆりかご」のモデルになったドイツにも取材をひろげたこの企画は、「県を超えた影響力をもつ、示唆に富む企画」と大賞に決まりました。



現場・観察

アカデミズムも

「寝たきり老人」という概念は日本にしかないという発見

厚生省の最大の課題は、西暦2000年わが国の寝たきり老人は100万人。手本はない



同じ1985年

←デンマーク
独り暮らしでも、自宅で暮らし、
お洒落して外出



↑日本
「寝たきり老人」呼ばれ
養老院カット

「寝たきり老人」という言葉がない 「原因」を分析。 1985年には、絶望的な違い

1989年から、変わりはじめた日本

謎を解く
アカデミズムも同じ

そして、右ページの表が、八九年の介護対策検討会設置を皮切りに日本の各地で始まったこと、変わったこと、変わったこと、変わったこと、変えられる、変えられる、そんな希望がわいてきます。

1985年よりキャンペーン開始。まず、違いを報道	
デンマークでは	ところが、わが日本では
寝たきり老人という役所用語がない (リズムある生活→リハビリ効果)	寝たきり老人という失礼な役所言葉 (寝かせきり→廃用症候群)
日本換算で50万人のホームヘルパー 24時間体制で、生活の節目に 所得に關係なく、当然の権利 ホームヘルパーの権限も給料も高く 休暇も希望もあり、尊敬される仕事 市町村職員だが、細やかな心くばり	ホームヘルパー2万5000人 週に数回、母間だけ現れる 低所得世帯が対象、腕と思ふ人も ホームヘルパーの給料は安く 男性が寄りつかぬ仕事 公務員ゆえの役所仕事
補助器具センターで、自助具や補助器 具をタイミングよく貸し出し 器具の企画や評価に、障害者が参画 寂しい時にも押しよよいSOSベル	補助器具のハードソフトも低水準 →寝たきり製造ベッド・体をダメに する車いすなどが横行 命にかかわる時だけ押すSOSベル
建築基準法でバリアフリー義務づけ 「高齢者に親切な住宅」建設法	つぶれなければ、燃えなければよいと いう建築基準法→段差だらけの家
町なか個室特養ホーム(プライエム)	段風景な庭園の特養ホーム。それも 足りず、1床4.3mの老人病院へ
365日の配食サービス 送迎サービスで買い物や音楽会へ 高齢者・障害者がおしゃれして街に (背景にバリアフリー法) ノンステップバスDAB試験中 小学校区に1つのデイセンター	ボランティアが月1度のお食事会 「在宅」という名の密室 外出できない高齢者・障害者 (背景に段差だらけの店やビル) バリアフルなバスとバリアフルな駅 外出先もなく自宅に閉じこもり
名探偵みたいな市町村の訪問看護婦 入院した時からの退院計画 家庭医という名の専門医が往診	医師の指示でしか動けぬ看護婦 退院してから役所に申請 往診は「命特なお医者様」だけ
治ったら退院。老人病院はない	病院でチューブ食、縛り、薬づけ
「自立支援で社会の支出は減る」	「福祉充実が経済の足を引っ張る」
自己決定権、人生の継続性の尊重の ための在宅重視、あわせて財政対策 自助のための惜しみない支援	家族とボランティアの無給労働をアテ にした「日本型福祉」と在宅推進 「自助努力」と「根性」を奨励
年次計画をたてて、企業家精神で	単年度主義で行き当たりばつたり
現場に権限と責任一無社が減り創業 役所が、自宅や病院へ出向く 「前例破り」を奨励する制度	なにごとにも中央にお伺いをたてて… 市民を役所の窓口と呼びつける 「前例がないからダメ」が口癖
医療費の伸びにストップ おしゃれと笑顔と誇りと美しい街	社会的入院でとめどなく医療費増大 入れ歯をはずされウツロもよなぞし
4世代同居で愛嬌ゆたかに	老士の老費増し、老人自給、人生を後

日本も国が、市町村が、変わり始めた!	
1989年初夏～	
1989年 厚生省に介護対策検討会 寝かせきりにしない介護・市町村 中心・社会保障方式の費用調達 の可能性などを提言	
1990年 ゴールドプラン・寝たきり老人ゼロ 作戦・ヘルパー10万人計画開始	
1992年 厚生省「脱お役所仕事の勧め」	
1994年 高齢者介護自立支援研究会報告	
1995年 24時間巡回型モデル事業	
1996年 老人保健福祉審議会最終報告 21世紀福祉ビジョンで新ゴールド	
1997年 公的介護保険法成立2000年実施	
1993年 厚生・通産省福祉用具法施行	
1989年 知的障害にグループホーム制度	
1990年 江戸川区の住宅改造補助事業	
1993年 建設省長寿社会対応設計指針案	
1995年 特養ホームの居室1人10.7㎡に	
1996年 痴呆グループホームモデル事業	
1989年 デイサービス・デイケア1万計画	
1992年 厚生省移送サービスに補助開始 大阪府福祉のまちづくり条例	
1994年 建設省がハートビル法 生活福祉空間づくり大綱	
2000年 運輸省が交通バリアフリー法	
1992年 老人訪問看護ステーション制度	
1988年 老人保健施設登場 1床8㎡	
1990年 介護力強化病院登場 1床4.3㎡	
1992年 療養型病床群登場 1床6.4㎡	
2001年 身体拘束ゼロへの手引き	
「福祉は投資・雇用創出」との意見も	
1992年 老人保健福祉計画マニュアル 「家族の介護力に過大な期待を かけぬよう十分留意されたい」	
1989年 高齢者医療福祉推進10か年戦略	
1990年 老人福祉法改正で市町村が主役に ・出前する江戸川区、隅田川の未来工房 ・「前例がないからやる」首長さん登場	
在宅を支える医師や看護師、口からの食事を 大切に作る歯科医、歯科衛生士、栄養士 等と連携し、おしゃべりの楽しみ、やわらかい	

ラムに、「寝たきり」少ないわけ——高齢福祉と小学校」をこわごわ書きました。なぜ、こわごわだったかとい
うと、当時、「寝たきり」は「寝かせきり」だ、などと言っている専門家はいなかったからです。おまけに、当の
私はというと、この分野では新米中の新米だったからです。
案の定、高名な教授やお医者さんから猛烈な反発を受けました。「どこかに寝たきり老人が隠されているのには
いない」「寝たきりになるような年寄りも適当に死なせているのではないか」
でも、お年寄り本位の介護をしている特別養護老人ホームやリハビリ専門医からは声援の手紙が届きました。
次に掲げた表は、左ページが、八五年当時の日本とデンマークの比較です。絶望的なほどの違いでした。
社説で、コラムで、連載で、本で、シンポジウムで、この違いを手を換え品を換え訴え続けました。
そうこうしているうちに、「寝たきりは寝かせきり」という訴えは次第に市民権を得てゆきました。学者の論文
に、他の新聞の連載記事に、イベントのタイトルに、「寝かせきり」という言葉を見かけるようになりました。

●朝日新聞論説委員室 十大熊由紀
福祉が変わる
医療が変わる

出版 ぶどう社
東京千代田区神田小川町
お茶の水SCハウス906
FAX 03(32895)522

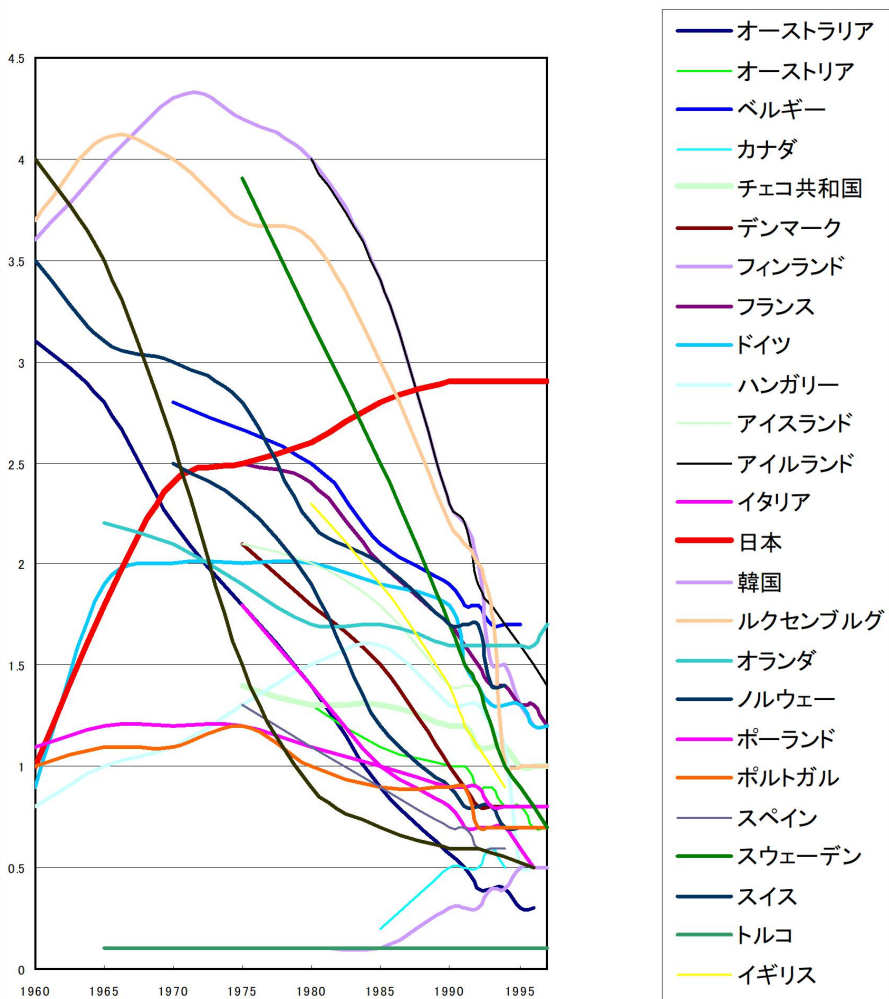
数量的に分析 アカデミズムも同じ

日本の人口は世界の2%足らず
精神科ベッドはOECDの37%
空きベッドに認知症の人を⇒国際常識の対極にあるもの

厚生省が数字をださないの
OECDデータをエクセルでグラフ化して発見

2000年のことでした

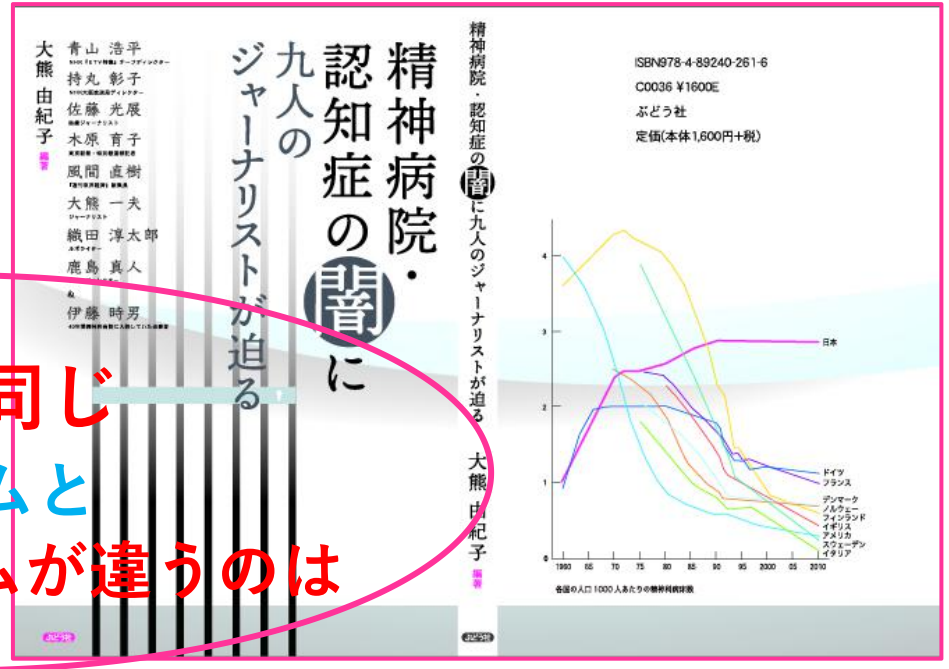
人口1000人あたりの精神病床



NHK「クローズアップ現代」より



日本の精神病院の身体拘束
人口あたり
アメリカの270倍、
オーストラリアの580倍
ニュージーランドの2000倍



文章化は同じ
アカデミズムと
ジャーナリズムが違うのは



タイトルのおかげで、厚生省に味方が。。

2025年秋のゲスト依田晶夫先生のスライドから2枚

過去の自分への反省を新たな政策に繋げる

入省2年目に配属された老人福祉課では、「要介護老人対策」と「生きがい対策」が施策の柱だった。

「寝たきりになる」原因への疑問も感じず、介護者の負担軽減に向けてサービスの充実に取り組む日々。

数年後に老人保健課に異動し、大熊由紀子さんが「寝たきり老人」は社会によって作られたものと訴える記事に接し、大いに反省。

常識を変えたい

折しも消費税の創設に伴い、高齢者保健福祉推10ヵ年戦略（ゴールドプラン）を策定することになり、若手からも提案が求められた。

「寝たきりを予防する」ための対策を総合的に取りまとめて打ち出し、「寝たきり老人ゼロ作戦」として立案。【1989年】

寝たきりゼロへの10か条（意識改革）

「寝たきりは予防できる」ことについて、保健医療関係者、福祉関係者のみならず、お年寄り自身を含めた国民共通の理解としていくために、「寝たきりゼロへの10か条」を策定した。【1991年3月】

- 第1条 脳卒中と骨折予防 寝たきりゼロへの第一歩
- 第2条 寝たきりは寝かせきりから作られる 過度の安静逆効果
- 第3条 リハビリは早期開始が効果的 始めようベッドの上から訓練を
- 第4条 暮らしの中でのリハビリは 食事と排泄着替えから
- 第5条 朝起きてまずは着替えて身だしなみ 寝食分けて生活にメリとハリ
- 第6条 「手は出しすぎず目は離さず」が介護の基本 自立の気持ちを大切に
- 第7条 ベッドから移ろう移そう車椅子 行動広げる機器の活用
- 第8条 手すりつけ段差をなくし住みやすく アイデア生かした住まいの改善
- 第9条 家でも社会でもよろこび見つけ うち そと みんなで防ごう閉じこもり
- 第10条 進んで利用 機能訓練デイサービス 寝たきりなくす人の輪地域の輪

「寝たきり老人」という役所用語・新聞のミダシがあるのは
「日本だけ」 そのわけはとキャンペーン

- 厚労省老人保健課長が
「寝たきり老人半減作戦」 ⇒ 多田部長「**ゼロ作戦に**」
- 厚労省官房政策課課長補佐が
「ホームヘルパー5万人計画」 ⇒ 吉原事務次官「**10万人計画に**」
- 厚労省吉原事務次官が
「シルバープラン」 ⇒ 戸井田大臣「**ゴールドプランに**」

そして、**介護保険制度へ**

ジャーナリストの財産は「人」

福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶつどい

を始めて、つなぐ試み

★「えにし」のHP

★「えにし」メール

★「えにし」を結ぶ会 2025年に25回目

リアルのときは

手話通訳/パソコン文字通訳/

磁気テープ/指点字/保育サービス

ズーム開催になってからはパソコン文字通訳だけに。



☆席は籤引き、あらたなえにしを結ぶために

志の縁結び係&小間使い ゆき

由紀子さんの旅立ちをお祝いし、新たな縁を結ぶ会

2001.5.12 プレスセンターホール

呼びかけ人

(当事者ネットワーク)

池田省三(介護の社会化を進める一万人市民委員会)
勝村久司(医療情報の公開・開示を求める市民の会)
川内美彦(障害をもつ人の権利リーガルアドボカシー)
見坊和雄(老いを共に楽しむネットワーク)
佐々木信行(ピープルファーストをはなしあおう会)
佐藤きみよ(ベンチレーター使用者ネットワーク)
高岡正(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会)
田中徹二(障害分野NGO連絡会)
多田宮子(さくら会)
芳賀優子(弱視者問題研究会)
樋口恵子(高齢社会をよくする女性の会)
樋口恵子(全国自立生活センター協議会・JIL)
山崎多美子(全国精神障害者団体連合会・ぜんせいれん)
山田昭義(障害者インターナショナルDPI)
渡辺啓二(ジョイプロジェクト)

(支援ネットワーク)

池田昌弘(宅老所・グループホーム全国ネットワーク)
伊藤哲寛(精神医療をよくする市民ネットワーク)
北岡賢剛(全国地域生活支援ネットワーク)
熊谷崇(日本ヘルスケア歯科研究会)
小林洋二(患者の権利法をつくる会)
菅原弘子(福祉自治体ユニット)
高橋儀平(福祉のまちづくり研究会)
高見国生(呆け老人をかかえる家族の会)
坪井栄孝(女性・こども・命・未来を守る会)
藤井克徳(共同作業所全国連絡会)
藤田康幸(医療改善ネットワーク)
別府宏園(正しい治療と薬の情報)
星川安之(日用品を広めるネットワーク)
山岡義典(日本NPOセンター)
リャン・スンチ(日本ホスピス・在宅ケア研究会)

(自治体)

浅野史郎・宮城県知事
岩川 徹・鷹巣町長
國松善次・滋賀県知事
坂本祐之輔・東松山市長
潮谷義子・熊本県知事
福田昭夫・栃木県知事
光武 顕・佐世保市長
森 貞述・高浜市長

(厚生行政)

伊藤雅治・医政局長
篠崎英夫・健康局長
今田寛睦・障害保健福祉部長
堤修三・老健局長
大塚義治・保険局長
辻哲夫・年金局長
中村秀一・審議官(医療保険担当)
河幹夫・参事官(社会保障担当)
山崎史郎・老健局計画課長
香取照幸・内閣府参事官(社会システム担当)

(朝日新聞社)

佐柄木俊郎(論説主幹)
田辺功(編集委員)
内山幸男(科学部長)
白井敏男(社会部長)
吉田慎一(くらし編集長)
川名紀美(論説委員)
伊中義明(論説委員)
浜田秀夫(論説委員)
高橋真理子(論説委員)
和田公一(社会部)

ジャーナリスト
として知った
4つの文化を
つなぐ試み

医療福祉ジャーナリズムの部屋

目次

- ◆◇ようこそ◆◇
- ◆◇笑数派コラちゃんと笑いの渦に◆◇
- ◆◇公開講義から生れた恋◆◇
- ◆◇認知症を見つめ続ける◆◇
- ◆◇インタビューの作法と極意◆◇
- ◆◇秋山正子さんと放課後◆◇
- ◆◇協働創造ニセモノホンモノ◆◇
- ◆◇盲聾の垣根をこえて◆◇
- ◆◇フランスの子どもの育ちと家族◆◇
- ◆◇水俣病と医療情報◆◇
- ◆◇ゆきこさんの地域包括ケア◆◇
- ◆◇学び続ける喜びを訪問カレッジで◆◇
- ◆◇医療安全担当から病院長になって◆◇
- ◆◇できることからコツコツと◆◇
- ◆◇幸せの国デンマークの秘密◆◇
- ◆◇財政と社会保障 分かち合い、支え合うための条件とは◆◇
- ◆◇人をつなぎ、データをつなぎ、医療を動かす◆◇
- ◆◇デンマークの保育 日本の保育◆◇
- ◆◇医療福祉ジャーナリズム分野とは◆◇
- ◆◇医療ジャーナリズム・福祉ジャーナリズムで できること 「なぜ？」という、問いを重ねて◆◇
- ◆◇医療福祉ジャーナリズムの目的地◆◇

2つの分野を
縁結びするために

ゆき、えにしネット

「えにし」の名称の由来は、2001年5月、プレスセンターで開いていた「新たな縁（えにし）を結びたい」と題する。



一人のジャーナリストと縁があるという、ただ、それだけの縁で集ってくださった分野の違う方々の間に、不思議な、新たな縁が結ばれ、広がっていきました。

このホームページが、縁結と医療とまちづくり、そして、現場と政策の新たな縁結びにつながることを願って、少しずつ内容を充実してまいります。時々書き進めてくださいます(〃〃)々

ご意見、ご褒めをお待ちしています。
ity0077@enishi.comへどうぞ！

大塚由紀子（前）医療福祉ジャーナリズム
一橋大学大学院社会学部社会学専攻・職

語り・味方・居場所～私の社会保障論	2017/10/10	ゆきえし先生の部屋・国内編	2020/11/16
社会保障と政治の部屋	2019/04/01	ゆきえし先生の部屋・海外編	2020/09/21
福祉医療政策活動の部屋	2021/02/01	被災した方を応援するために	2016/05/09
福祉・介護保険	2010/09/13	世直しの人間科学	2008/02/02
福祉・医療人材とケアの質の部屋	2021/08/09	100のチェックポイント	2006/01/02
迷んだ場所でもつりをもって	2018/03/05	少子化・子育て・教育の部屋	2015/05/17
福祉の町・秋田県鹿角市がつくり上げたもの・失ってしまったもの	2014/10/27	千葉・ちいき賞	2008/06/23
ホスピスケアの部屋	2021/08/30		
認知症の部屋	2021/09/06		
自立生活の部屋	2016/10/04		
福祉用具の部屋	2019/05/06		
精神医療福祉の部屋	2021/09/06		
身体拘束の部屋	2020/07/26		
障害福祉政策・活動の部屋	2021/08/16		
インフォームド・コンセントの部屋	2021/03/22		
在宅ケアの部屋	2021/01/11		
たばこの部屋	2020/04/13		
くすりの部屋	2021/01/25		
「子宮頸がん予防」？ワクチンの部屋	2021/09/20		
医療事故から学ぶ部屋	2021/03/29		
患者体験者と適度に学ぶ部屋	2007/11/20		
公開講義・倫理と変革の部屋	2021/09/20		
医療福祉ジャーナリズム分野 修士・博士コースへのお誘い	2010/12/19		
メディアの部屋	2018/03/05		
メディアと憲法の部屋	2020/04/06		
写真集から (pictures)	2002/01/01		
霞からウロコのメッセージの部屋	2013/08/25		
シンポジウムの部屋	2014/08/17		
「縁結」資料の部屋	2005/12/02		
障害差別をなくすための海外資料翻訳の部屋	2007/05/13		
卒論・修論・博論の部屋	2020/10/25		
世界とどうかわれば	2015/07/06		
らうんじ・えにし	2021/04/05		
えにしの方の精神誌	2021/09/20		
年賀状から	2021/01/04		
えにしの本のエッセンス	2021/08/16		
ゆきの部屋	2016/07/04		
えにしの人々のページにリンク	2021/02/08		

<https://yuki-enishi.com/journalism/journalism-00.html>

2024.12.08のオープンキャンパスでの丸木一成教授のプレゼン

- ◆◇医療ジャーナリズム・福祉ジャーナリズムで できること 「なぜ？」という、問いを重ねて◆◇
- 科学部・論説委員室の経験から・虫の目・鳥の目・歴史の目・ことばを創る・追放する・人をつなぐ・家庭教師が財産etc. ゆきより
- ◆◇医療福祉ジャーナリズムの目的地◆◇

「文化をつなぐ」ために、8つのシキタリをつくりました (コロナでズームになって、「その7」は省力化(^_-)-☆)

- その1 席は、**籤引き**。恋が偶然の機会から生まれるように
- その2 **パソコン文字通訳、手話、磁気ループ、指点字**を用意
- その3 毎回、**news**が潜んでいます
- その4 どんなに高名な方でも、**講演料ナシ**。それは、“権利”なのだという理屈から
- その5 登壇は「権利」なので、「**一生に一度**」だけ。
- その6 **モットーは前例を破ること**。〇〇先生、〇〇局長という上下っぽい呼びかけをやめ
カラちゃん、サルちゃんと呼び合って、始まる前から水平の関係が
- その7 **縁の下の力持ち 資料配布ボラ 袋詰めボラ**
満員御礼判定 & 「えにし結び名簿」ボラ
映像配信ボラ プログラムづくりボラ 売り子担当ボラ
受付・ご案内担当ボラ 幹事長・事務局長ボラetc. etc.
- その8 **スポンサーなし**





たとえば、
えにし集い2013
認知症のお二人
シゲさん、マサさんのトークに
夜の部パネリストの副大臣も感動!!!!!!
国会の委員会でも話題に

プログラム

13:00 開会 プレスセンターホール

13:05 ~ 14:45

第1部 濃縮シンポジウム

「住みなれたまちで、老い・障害・病気・認知症と仲良く暮らすために」

- ☆ 認知症で癌の人も受けとめるホームホスピス「かあさんの家」の市原美穂さん
 - ☆ 日本で初めて施設を解体した霊仙の田島良昭さん
 - ☆ 「新しい地域医療の構築」に取り組む日本医師会長の横倉義武さん
 - ☆ ユニバーサルデザインを熊本県政の理念に選んだ、いま、日本社会事業大学理事長の潮谷義子さん
 - ☆ 「住みなれた地域で自分らしく」を掲げる厚生労働省老健局長の原勝則さん
- コーディネーター：野澤和弘さん（毎日新聞論説委員）

14:45 ~ 15:15 ♪ えにし結びたい・む ♪

スクリーンには、「コンボ」や「クッキングハウス」の統合失調症の方々の笑顔の写真、ALSの記者の活躍などを次々と

15:15 ~ 16:30

第2部 立体シンポジウム

「冤罪をつくる構造～警察官・検察官・裁判官、そしてメディア」

- ☆ 「ストーリー」通りの供述調書をつくられた選手の二階堂基一さん
 - ☆ 「日本一の福祉のまち」をつくったことで知られた秋田県旧鷹巣町長の岩川徹さん
 - ☆ 冤罪で囚われの身になった村木厚子さんと、支えきった太郎さんご夫妻
 - ☆ 村木さんを救い出した敬院弁護士・弘中惇一郎さん
- コーディネーター：大熊一夫さん（ジャーナリスト・元大阪大学大学院教授）

2013.4.27 SAT.

ことしもまた、新たな縁(えにし)を結ぶ会 '13!

16:30 ~ 18:00 ♪ 長めのえにし結びたい・む を夜の会場のそばで♪

18:15 ~ 21:00

第3部 大討論会 内幸町ホール

「日本にも、本格的な認知症の国家戦略を!!!」

- ☆ 若年認知症のご本人、佐藤雅彦さん&中村成信さんの掛け合いトーク
 - ☆ 認知症ご本人が政策の成果を評価する「京都方式」をつくり、
ことしも1000人を一堂に集めた森俊夫さん
 - ☆ デンマークに学び、認知症コーディネーターを
386時間の実のある研修で8期76人誕生させた大牟田の大谷のみ子さん
 - ☆ 認知症の母上を自宅で看取った東京都医師会長の野中博さん
 - ☆ 認知症施策5カ年計画（オレンジプラン）を推進する厚生労働省の副大臣・榎原敬徳さん
 - ☆ 共生ケアの元祖、富山の「このゆびとまれ」の惣万佳代子さん
 - ☆ 認知症の人の地域での暮らしを応援する佐賀県知事の古川康さん
- コーディネーター：町永俊雄さん（元NHK福祉ネットワークキャスター）

言葉をつくり

言葉を退治して

社会を変えるという試み

アカデミズムは、
新しい概念・発見・法則で社会を変える。。。。

修論・博論を少しだけご紹介します



ナース・介護職に読まれてすでに2刷り
国際医療福祉大学付属病院・仙台の地域でも教科書に

目次

イントロダクション——認知症になっても、最期まで身も心も縛られない暮らしを求めて(平岩千代子)

田中とも江——縛らない看護は私のライフワーク(平岩千代子)

小藤幹江——抑制することは看護の本質にそぐわない(平岩千代子)

永田久美子——見えない拘束からの開放をめざして(平岩千代子)

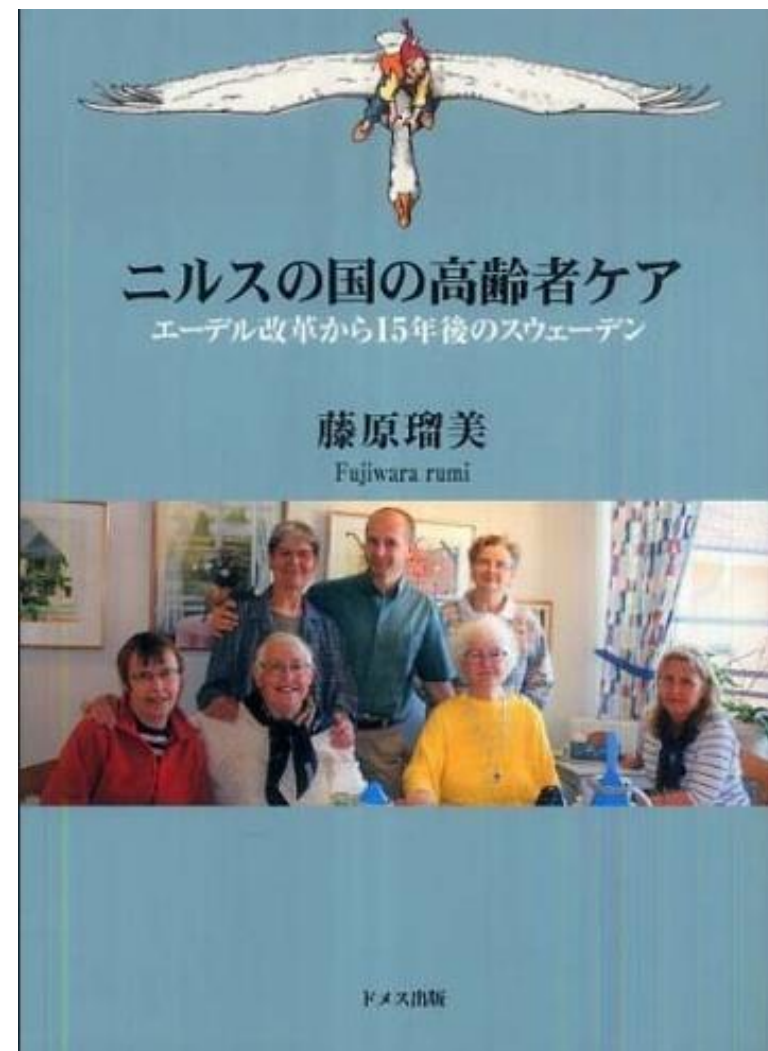
前例を超え、前例を創ったナースたち(大熊由紀子)

厚生労働省に影響を与えた

スウェーデンの「過去」と「いま」

「70年代末まで、精神病院に認知症の人が患者として収容され、写真の両端の人のように、縛られている人もいました」

1992年にエーデル改革。このような風景は皆無に



ジャーナリズム分野

博士第1号

藤原瑠美さんの論文が本に

ライフヒストリーで「自立概念」を深める

自立とは

伝統的な自立観

経済的、職業的な面での自立、または非依存、介助不要という意味での自立。

障害者のリハビリテーション=訓練を正当化、施設収容主義を正当化。

新たな自立観としての自立生活思想

自立とは自己決定である。

同時に、自分で決めたことの責任も障害者が負うということの意味しており、当然、失敗したり危険を冒したりする権利もこの自立の考え方には込められている。

*エド・ロバーツ 「依存による自立」

衣服の着脱に1時間を要するものがあるとすれば、その人に対して介護人を派遣して10分で着脱を終わらせ、残りの50分をより人間的に有意義な時間を作り出していくようにする。

5

研究目的

谷口さんの59年の足跡を伝記にまとめ、障害をもつ人の自立生活実現のためにどのような当事者アドボカシー活動をしたか明らかにする

〈メッセージ〉

- ・自立して生きることの大切さと喜びを伝える
- ・重度の障害があっても自分で選択し、自分で決めて、自分の人生を生きることができる。

〈読者〉

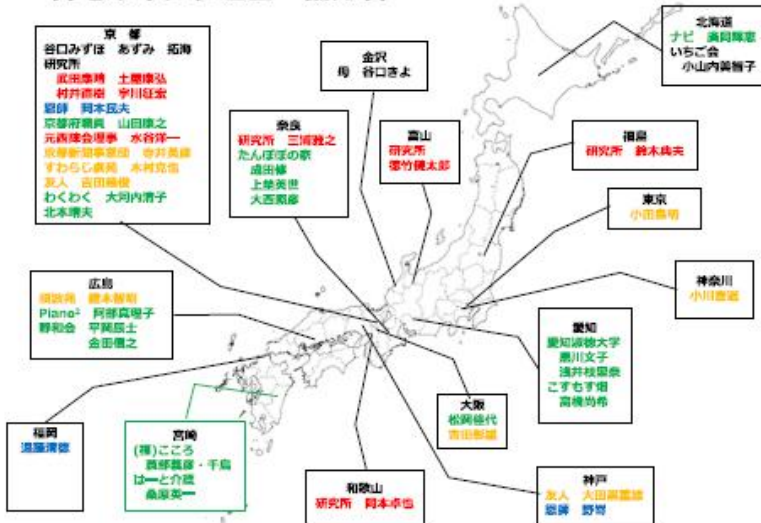
障害をもった人 家族 ⇒自分の人生を肯定し幸せな人生を送ることができるようになる

障害をもたない人 ⇒ 人生を見つめなおすきっかけとなる障害や自立への理解が深まる

自分と違う個性を認めあえる、誰もが夢をもって暮らせる共生社会の実現につながる

6

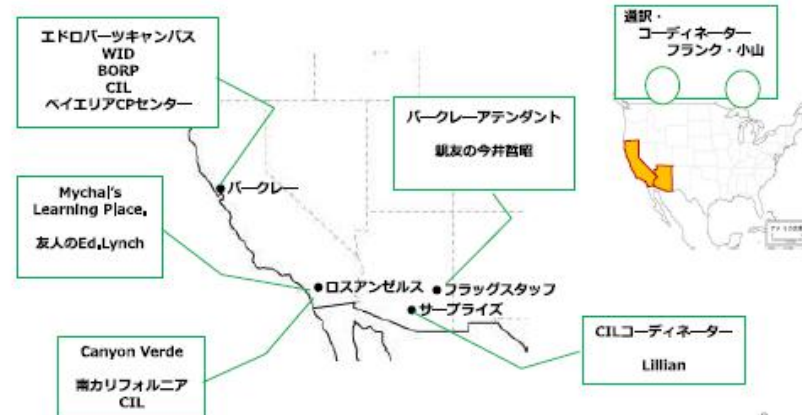
各地のインタビュー協力者



7

アメリカのインタビュー協力者と視察先

5/6~13 バークレー留学時代の足跡をたどるインタビュー&「谷口明広と行くアメリカ研修ツアー」視察先を訪問



8



障害福祉の現場から
鈴木隆子さん

言葉をつくる・言葉を退治する経験

つくった言葉。広めた言葉。。

寝たきり老人⇒「寝かせきり」にされた犠牲者

善玉 コレステロール

かかりつけ薬局 日本薬剤師協会会長さんとの会話から。

終末期医療⇒人生最終段階の医療と福祉（厚労省の検討会で奮闘）

⇒**人生の最終章**

抑制⇒**縛る**（八王子の上川病院がカルテに書くようになったことを広めました）

まだ、退治できていない言葉

認知症**治療**病棟/**認知症患者**/**健常者**/**特養待機者**/**受け皿**/**徘徊**

国民負担率⇒**国民支えあい率**へ

北海道新聞が、この秋、

取り上げてくださいました！

興味深人

インタビュー

福祉医療問題を追うジャーナリスト おおくま 由紀子さん
大熊



(大熊 由紀子)

福祉や医療分野の改革をベンで訴えきた元朝日新聞社論委員の大熊由紀子さん(85)は「言葉は魔術」という。同紙の紙面で、日本の「寝たきり老人」の多くは寝かせたきりにされた「犠牲者」と指摘するなど、国の施策にも影響を与えてきた大熊さん。言葉は、見えていなかったものを気付かせる一方、時に「本質を隠す」ともある、とも。記者時代のみならず退社後を含め、60年以上にわたりジャーナリストとして活躍する大熊さんに、あるべき社会保障の姿を聞いた。

「寝たきり老人」に違和感

「寝たきり老人」に違和感を感じたきっかけは、1984年、厚生省は「2000年に寝たきり老人が100万人になる」と恐れていた。解決策を採るため翌年、ヨーロッパ4カ国を回った時、「寝たきり老人」という言葉が通じなかったのです。「介護が必要なおお年寄り」というと通じましたね。「会った女性は、車椅子に腰掛け、ワンピース姿にイヤリング、マニキュアもしていました。半身不随でしたが、おしゃべりでした。日本のおお年よりは、起こしてもらえない『寝かせたきり』なのだ」と

言葉は魔術 本質見抜き社会変える

「寝たきり老人」に違和感を感じたきっかけは、1984年、厚生省は「2000年に寝たきり老人が100万人になる」と恐れていた。解決策を採るため翌年、ヨーロッパ4カ国を回った時、「寝たきり老人」という言葉が通じなかったのです。「介護が必要なおお年寄り」というと通じましたね。「会った女性は、車椅子に腰掛け、ワンピース姿にイヤリング、マニキュアもしていました。半身不随でしたが、おしゃべりでした。日本のおお年よりは、起こしてもらえない『寝かせたきり』なのだ」と

「寝たきり老人」に違和感を感じたきっかけは、1984年、厚生省は「2000年に寝たきり老人が100万人になる」と恐れていた。解決策を採るため翌年、ヨーロッパ4カ国を回った時、「寝たきり老人」という言葉が通じなかったのです。「介護が必要なおお年寄り」というと通じましたね。「会った女性は、車椅子に腰掛け、ワンピース姿にイヤリング、マニキュアもしていました。半身不随でしたが、おしゃべりでした。日本のおお年よりは、起こしてもらえない『寝かせたきり』なのだ」と

「寝たきり老人」に違和感を感じたきっかけは、1984年、厚生省は「2000年に寝たきり老人が100万人になる」と恐れていた。解決策を採るため翌年、ヨーロッパ4カ国を回った時、「寝たきり老人」という言葉が通じなかったのです。「介護が必要なおお年寄り」というと通じましたね。「会った女性は、車椅子に腰掛け、ワンピース姿にイヤリング、マニキュアもしていました。半身不随でしたが、おしゃべりでした。日本のおお年よりは、起こしてもらえない『寝かせたきり』なのだ」と

「寝たきり老人」に違和感を感じたきっかけは、1984年、厚生省は「2000年に寝たきり老人が100万人になる」と恐れていた。解決策を採るため翌年、ヨーロッパ4カ国を回った時、「寝たきり老人」という言葉が通じなかったのです。「介護が必要なおお年寄り」というと通じましたね。「会った女性は、車椅子に腰掛け、ワンピース姿にイヤリング、マニキュアもしていました。半身不随でしたが、おしゃべりでした。日本のおお年よりは、起こしてもらえない『寝かせたきり』なのだ」と

1940年、東京生まれ。東京大学教養部の科学史・科学思想科卒業後、63年に朝日新聞社入社。84年同社女性初の論評委員として科学、技術、医療、福祉分野の社説を担当。2000年の退社後、大阪大学大学院教授を務め、04年から国民医療政策大学大学院教授、著書『寝たきり老人』の監修など。『寝たきり老人』の監修など。『寝たきり老人』の監修など。

「寝たきり老人」に違和感を感じたきっかけは、1984年、厚生省は「2000年に寝たきり老人が100万人になる」と恐れていた。解決策を採るため翌年、ヨーロッパ4カ国を回った時、「寝たきり老人」という言葉が通じなかったのです。「介護が必要なおお年寄り」というと通じましたね。「会った女性は、車椅子に腰掛け、ワンピース姿にイヤリング、マニキュアもしていました。半身不随でしたが、おしゃべりでした。日本のおお年よりは、起こしてもらえない『寝かせたきり』なのだ」と

ジャーナリズム～ニセモノが発生する仕組み

子宮頸がんワクチンの被害をマスメディアが報じないワケ
「毒入り新オレンジプラン」をマスメディアが賞賛したワケ

記者クラブ 横のものをタテにする

現場に行かない

裁判にも行かない

省内の検討会にさえ、行かない

その背後に、製薬会社⇒政党⇒厚生労働省

記者レク以後に、与党から精神病院を重視せよと加筆要請
(それに気づかず、原案を紹介・賞賛)

アカデミズムでも、同様な構造が(/o\)

行政

「ワクチンとは無関係。心因性」というと、研究費

企業 証人に多額な謝礼 ランチオンセミナ 製薬会社が黒幕の「専門誌」

レフェリー 好き嫌い 派閥
「レフェリーがアイデアを盗む」

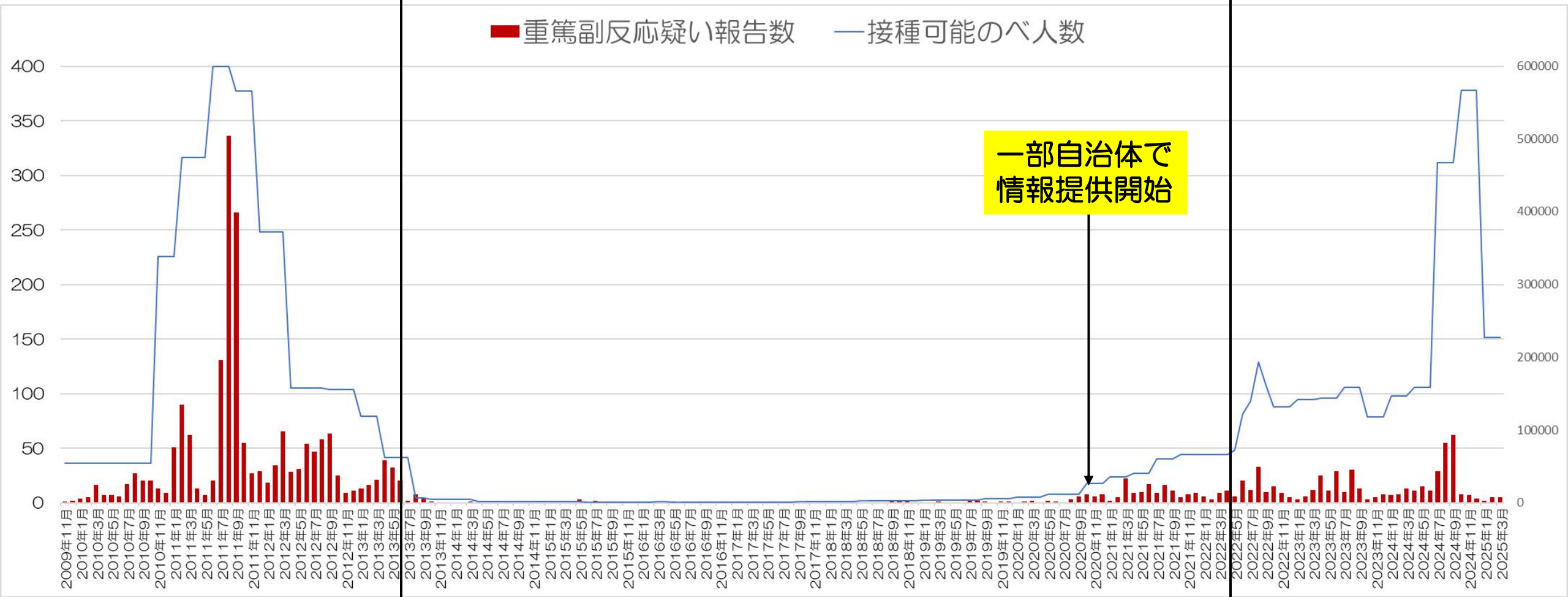
WHO、そして、あの「コクラン」にさえ、
製薬会社の魔の手が。。

接種勧奨の中止

接種勧奨の再開

■ 重篤副反応疑い報告数 — 接種可能のべ人数

一部自治体で
情報提供開始



2013年5月の第1回副反応検討部会に提出された 全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会資料

24例の重篤症例

カルテ添付の
実名資料

このうち3分1の
7例しか厚労省は
把握していなかった
矢島局長が積極勧奨
中止にふみきった
のは、それを深刻に
受けめたためでした

番号	最終接種年齢	接種日	回数	発症時期(最終接種からの時間)	サ/ガ※	主訴	備考(医療機関における診断等の記載)	企業または医療機関からの報告
1	10代	2012/8/7	1	4日	ガ	麻疹疹、咳、眼瞼痙攣、不随意運動、疲労感、過呼吸	脳波異常なし。	
2	10代	2012/5/26	1	28日	ガ	頭痛、歩行困難、眩暈、激やせ	初期は自家中毒とされた。歩行可能まで回復。	○
3	10代	2013/4/13	1	2日	サ	麻疹疹、微熱、目の充血・かすみ、口の中や周りの痛	血液検査で炎症反応強い。	○
4	10代	2012/3/3, 4/2	2	翌日	サ	頭痛、嘔吐、関節痛、摂食不良、ADL低下	ワクチン接種後多発神経炎	
5	10代	2012/9/29, 12/22	2	59日	ガ	足のだるさ、痛み	複合性局所疼痛症候群	○
6	10代	2011/5/2, 6/14	2	11回目後10日	サ	四肢、背中など全身を移動する痛み	線維筋痛症は否定的。「難治性疼痛」	○
7	10代	2012/8/18, 10/17	2	3日	ガ	頭痛、過呼吸、歩行困難、腰痛	電話?相談で小脳失調あるいはADEMと指摘。	
8	10代	2011/9/16, 10/19	2	不明	サ	激しい頭痛、頻繁に起きる解離、体中の痛み、味覚障害、羞明、膝下のアロディニア、歩行障害など。	入院三回(詳細不明)	○
9	10代	2012/6/20, 2012/8/20	2	96日	ガ	歩行困難、四肢関節痛、日光過敏、筋力低下、頭痛、腹痛	膠原病は否定的/胸郭出口症候群(治療するも無効)/若年性特発性関節炎	
10	10代	2012/8/16, 10/15	2	8日	サ	足首の痛みと腫脹あり、ひざ、肩の順に次々と関節が腫れる。歩行困難。	関節型若年性特発性関節炎(メトレキサート無効・シリズマブ投与)	
11	10代	2011年3月、5月	2	1回目後・不明	不明	強い頭痛発作	慢性群発頭痛	
12	10代	2011/8/8, 9/6, 2012/2/7	3	不明	サ	歩行不能、左肩・胸痛、握力低下	大学病院で検査するも不明とされる。	○
13	10代	2011/8/5, 9/2, 2012/4/5	3	85日	サ	頭痛、筋痛、発熱、関節痛	SLE(ステロイドパルス施行)	
14	10代	2011/10/15, 12/17, 2012/5/12	3	2回目後13日	サ	関節痛	リウマチ否定的とされる。	
15	10代	2011/4/7, 5/14, 10/22	3	2回目後13日	サ	倦怠感、吐き気、眩暈、嘔声	膠原病や頭蓋内病変は否定的。	
16	10代	2011/9/14, 10/29, 2012/3/30	3	不明	不明	全身の痛み、痺れ、頭痛	MSやリウマチは否定的とされる。	
17	10代	2011/9/17, 10/27, 2012/3/29	3	不明	サ	偏頭痛・感情の起伏激しくなる	小児科・婦人科の診察を受けている。	
18	10代	2011/9/27, 10/30, 2012/3/28	3	19日	サ	突然の下肢脱力、意識消失、呼吸の乱れ、手足のびくつき	睡眠障害、特発性過眠症	○
19	10代	2010/8/9, 9/7, 2011年2月	3	1年	サ	下肢、ひじの痛み、足関節痛	肘部管症候群/膠原病は否定的。	
20	10代	2011/9/13, 10/14, 2012/3/23	3	翌日	サ	手首、足首の痛み、足首・足底の腫れ	甲状腺機能低下症/若年性特発性関節炎	
21	10代	2011/8/7, 11/5, 2012/3/24	3	不明	サ	関節腫脹、運動時痛、微熱	CRP軽度上昇のほかは検査値に異常なし/関節症性乾癬(シクロスポリン内服)	
22	20代	2011/8/4, 9/5, 2012/5/31	3	3ヶ月	サ	発熱、手の痺れ、足のだるさ	頸椎ヘルニア/複数回のMRIで異常なしとされる。	
23	10代	2011/2/19, 3/18, 8/20	3	289日	不明	発熱、意識レベルの低下	ブレドニン内服中。SLEの記述有。	
24	10代	不明	不明	数日	サ	足底感覚異常、眩暈、嘔吐、微熱、脱毛、脱力感、頻	精査するも異常なし。	

原告側専門家証人の6人



池田修一 信州大学**名誉教授**



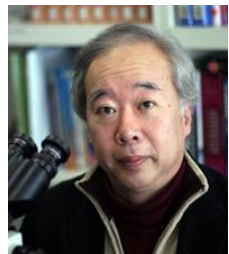
横田俊平 横浜市立大学**名誉教授**



高橋幸利 静岡神経てんかんセンター**名誉院長**



高嶋博 鹿児島大学医学部脳神経内科教授



鳥越俊彦 札幌医科大学病理第一講座教授



椿広計 統計数理研究所**名誉教授・所長**

被告側専門家証人 12人

福岡地裁	東京地裁	名古屋地裁	大阪地裁
<p>園生雅弘医師 帝京大学 神経内科</p> 	<p>角田郁生医師 近畿大学 免疫学</p> 	<p>笹川寿之医師 金沢医科大学 産婦人科</p> 	<p>鴫田夏子医師 慶應義塾大学 小児精神科</p> 
<p>畑澤順医師 第二大阪警察病院 核医学・SPECT</p> 	<p>中村好一医師 自治医科大学 疫学</p> 	<p>中山哲夫医師 北里大学大村智記念研究所 臨床ウイルス学</p> 	<p>三木健司医師 大阪行岡医療大学 整形外科一般・疼痛管理</p> 
<p>本郷道夫医師 塩竈市立病院内科非常勤 機能的消化器疾患</p> 	<p>住谷昌彦医師 東大病院 疼痛管理学</p> 	<p>奥村彰久医師 愛知医大 小児科学</p> 	<p>上田豊医師 大阪大学 産婦人科</p> 

このうち金銭授受が法廷で明らかになったのは



三木健司(大阪行岡医療大学・整形外科)

MSDから

訴訟関連業務委託費

合計2300万円以上



本郷道夫(東北大**名誉教授**・総合診療科)

MSDから

訴訟関連業務委託費

合計1200万円以上

うち600万は透明性ガイドラインでも非開示

専門家証人2023年5月から12月

池田修一 信州大学名誉教授 名誉教授

神経難病等の専門家、厚労省副反応治療研究班班長

200名を診察 87名をHPVワクチン副反応と診断

横田俊平 横浜市立大学名誉教授 名誉教授

小児リウマチ、膠原病、若年性線維筋痛症等の専門家
小児科学会会長も。

約150名を診察

高橋幸利 静岡神経てんかんセンター 名誉院長

小児の難治性てんかん、神経難病等の専門家

60～70名を診察

高嶋博 鹿児島大学 教授

自己免疫性脳炎・脳症等の専門家

65名を診察

鳥越俊彦 札幌医科大学 教授

椿広計 統計数理研究所 所長・名誉教授

臨床家の裁判での証言

- 共通の特徴的な病態
 - 多様な症状、重層化、時とともに変化
 - 既知の疾患では説明しつくせない
- 自己免疫性の神経障害
 - 自己抗体の検出など客観的所見
 - 免疫治療で改善がみられる
 - ※ 心因性(なまけ病・気のせい)ではない
- 接種状況と患者発生の時間的相関がある

多様な症状が重層化し、変化する

感覚系障害

頭痛，四肢・全身の疼痛，光過敏，音過敏，嗅覚障害，激しい生理痛等

運動系障害

不随意運動，脱力，筋力低下，けいれん，歩行障害等

認知・情動系障害

倦怠感，集中力低下，学習障害，記憶障害，相貌認知障害等

自律神経・内分泌系障害

発熱，月経異常，過呼吸，睡眠障害，ナルコレプシー，発汗過多等

既知の疾患では説明できない

➤ 池田修一名誉教授

CRPS + POTS + 高次脳機能障害
「子宮頸がんワクチン接種後症候群」

➤ 横田俊平名誉教授

線維筋痛症を疑ったが違うと結論
「HPV ワクチン関連神経免疫異常症候群: HANS」

➤ 高橋幸利名誉院長

「わたしが知る限り同じような患者群はいない」

➤ 高嶋博教授

自己免疫脳症のびまん性脳障害の特徴がある
末梢神経障害の併存、年齢層が特殊

自己免疫性の神経障害 (その証拠は)

➤ 自己抗体検査

自律神経や認知機能の働きを阻害する自己が有意に増加

高橋P. NMDA型グルタミン酸受容体抗体（脳脊髄液）

池田P・高嶋P α 1アドレナリン受容体抗体等（血清）

➤ SPECT検査

大脳辺縁系、脳幹部、視床下部等の血流が有意に低下

池田P・高嶋P・高橋P

➤ 免疫治療

免疫抑制剤・血漿交換療法で一定の効果

免疫学者(鳥越俊彦教授)の証言

日本がん免疫学会理事長

- 病態の特徴と検査所見は自己免疫疾患を示す
- ワクチンが自己免疫疾患を引き起こすことは既知
(例えば、ギランバレー症候群・ADEM)

- HPVワクチンの成分から免疫学的に説明可能



HPVワクチンが原因と考えるのが合理的

危険なHPVワクチンの成分

➤ 免疫を過剰に活性化

抗原であるL1-VLPに強い免疫原性あり(実験論文)
アジュバントでさらに増強

サーバリックス : AS04 自然感染の10.5~27倍

ガーダシル : AAHS アジュバントなしの100倍

➤ 分子相同性

L1-VLPとヒトのアミノ酸配列の部分一致多数



「免疫寛容」の破綻(自己免疫)

統計学者(椿広計名誉教授)の証言

応用統計学の第一人者

臨床試験の統計解析ガイドライン原案作成に参画

中央薬事審議会委員、薬事・食品衛生審議会委員

➤「有意差なし＝因果関係なし」とするのは「統計の誤用」

(「差がある」ことの証明ができない、だけで
「差がない」ことの証明にはならない)

➤国内外の調査は危険性のシグナルを示している

産婦人科の女性にとって恥ずかしい検診台に
のらなくてもいいように

イギリスでは女性の看護師が普通のベッドで検
診

BBCのスタジオで紹介



激しい頭痛、黒板の字が読めなくなって休学した天草の高校生、相原咲紀さん。

娘のためと、接種を勧めてしまった母・美紀さんの苦悩と後悔。

咲紀さん、録画も激しい頭痛が、翌日はさらに

<https://www.youtube.com/watch?v=sfIpfZwNtZQ>



講師 乃木坂が笑いの渦に！
 笑数派コアラゲンはいごうまん さん
 2025.6.5 乃木坂スクール



公開講義風景-☆
 恋の縁結びも(^_-)-
 ☆



講師 厚生労働省 事務次官
 伊原 和人さん
 2025. 6. 26 乃木坂スクール



2月の統合失調症学会の
 メインテーマになった**当事者**
研究と
体験ルポ芸人を縁結び(^_-)-☆



フランスの子ども
育ちと家族

2024.11.13 ゆきゼミ

講師

フランス・パリから講義
安發 明子さん

海外と日本を 縁むすび



たとえば、
フランス・イギリス・
デンマーク・スウェーデン・
フィンランド、アメリカ、
ケニアから

ゆきゼミ2022年7月7日 片岡豊さん

放課後

同じ愛媛の 元厚生労働大臣と
精神病院をなくした院長さんと

“Akkyの講義に癒された放課後”

2025.5.1 @東京・赤坂

KANPAI!

